

旧街道ウォーク354★古代東海道[38][古代東海道 2008-09 その 17](土浦～石岡)活動報告

【日 時】2010 年 1 月 11 日（月・祝）11:00～16:30 曇り

【コース】土浦駅 …バス… 真鍋（土浦一高）→ 神立町 → 東中貫〈昼食〉→ 下稲吉 → 天の川 → 恋瀬橋
→ 総社神社（常陸国総社宮）→ 石岡小学校（常陸国府）→ 石岡駅（歩行 12km）

【参 加 者】○梶川義実、磯田尚子、磐田江利子、大竹 亮、片桐拓朗、加藤栄子、児山文一、△佐藤晶子、
佐藤紀美子、高梨健一、恒川磯雄、寺村 映、長澤純一、林 浩二、平野 隆、延原紀子、
橋本めぐみ、長谷川万里子、矢部公大、山根純一（以上 20 名）（○は主催者、△は部分参加）

【概況説明】

この日は、大変寒い曇りの天気でした。土浦一高バス停で降り、前回終着地の筑波街道交差点から北へ歩き始め、旧水戸街道へ入り松並木を抜け、一里塚を両側に見ながら鎌倉坂へ。その先、土浦千代田工業団地の中の台地上の直線道を進んで昼食休憩。下稲吉の交差点の先からは、主要道を避けて新治集落の道へ入りました。天の川を渡り、再び台地が上がって、胎安神社、子安神社を一瞥した後、恋瀬橋の手前で、最近発見された中津川遺跡（古代道路遺跡）の場所を遠望しました。恋瀬川を渡って石岡市内に入り、街中を抜けて常陸国総社宮（総社神社）へ詣で、すぐ隣の石岡小学校敷地内の常陸国府跡・終着地へ到達しました。

【評価結果】

古代官道らしさについては、直線状の道が多いなど古代官道の特徴が出ていた部分が多かったため、かなり高い評価となりました。沿道風景については、松並木や農村風景、遠くの筑波山などを挙げた人が多く、やや高めの評価となりました。古道関連の史跡については、常陸国総社宮と常陸国府跡はあったものの、途中の道筋には少なかったため、やや低い評価となりました。案内表示については、いくつかの地点で古道や歴史の案内板があり、平均よりやや高い評価となりました。印象に残ったものは、松並木、一里塚、常陸国総社、常陸国府跡に集中しました。古道を活かしたまちづくりについては、石岡のすばらしい町並み景観と古代からの歴史の重層性が注目されます。全体を通じての評価点は、3.86 とかなり高めの評価となりました。



▲推定古代東海道／土浦市板谷の水戸街道松並木



▲常陸国府に隣接した常陸国総社宮（石岡市総社）

【参加者の評価結果】

1 ◆全体を歩いた感想 評価点：3.86 内訳：AAAAAABBBBBBC

A：古代東海道の最終回にふさわしい充実した行程だった。一路国府を目指す直線状の古道、冬枯れの平地林や田畑、路傍の古社、格式ある国府・総社宮など、古代のロマンを感じさせてくれた。

A：見るべき遺構や寺社は少なかったが、ひたすら国府を目指して歩いている感覚があり、良かった。

A：遺構はあまりなかったが、古代官道の特徴である直線性が実感できた。国府瀬川→恋瀬川との伝承もあり、国府らしさを感じられた。

A：今回（最終日）のみの参加でしたが、十分楽しませていただきました。史跡は決して多くはなかったかもしれませんが、要所要所で説明をしていただき、古に思いを馳せ（勝手に想像し）、実際に歩くことで歴史を身近に感じることができて満足です。

A：最終地点まで到達したことに感激しています。

A：なんと言ってもゴールしたということで。

A：寒い一日でしたが、歩きやすい道でした。

B：距離にしては歩きやすかったし、道も変化に富んでいました。

B：思ったほど寒くなく、石岡まで元気に歩けた。

B：交通量の多い区間にはほとんど歩道が整備されており、危険を感じることも少なく歩きやすかったと思います。

B：途中は単調だったが、長い距離をテンポ良く歩いたという感じと、何より、最後に常陸国府に至ったという実感があつた。

B：百街道一步さんのページや梶川さんからのメールを参照して、漠然としたイメージを持っての参加でした。歩きながら街道の見どころや歴史的背景を記憶に留めながら、楽しく歩きました。今後は自分なりのテーマをしっかりと持って歩きたいと思います。

B：ところどころ茨城らしさ？（平地だけど作物を作っていない）が感じられた。

C：ほとんど見どころがなかった。

2◆特に魅力的だったところ

○土浦一高：重要文化財の校舎で部活動とはうらやましい！（見たかった）

○旧水戸街道松並木：両側に立派な並木が残り、水戸街道の風景が伝わっている。

○旧水戸街道松並木：街道を覆うように並んだ松の並木が旧街道の雰囲気醸し出している。

○旧水戸街道松並木：なかなか風情がありました。

○旧水戸街道松並木：一箇所アーチになっていた。

○旧水戸街道松並木：古代官道の雰囲気ではないと思うが、昔の街道の雰囲気がよく出ていた。

○旧水戸街道松並木と一里塚：古代官道ではないが、街道歩きの楽しさを感じた。

○旧水戸街道松並木と一里塚：江戸時代の街道の雰囲気が残っている。

○旧水戸街道松並木と一里塚：このようなところがあると知ってびっくりした。

○板谷一里塚：道の両側に塚が残り、往時の雰囲気があつた。

○板谷一里塚：実物をみたのは初めて。人と樹木の深い関係に感動。

○鎌倉坂：台地から谷津に下りる急坂だが、下方の見通しが良く、軍道であったことを彷彿とさせる。

○鎌倉坂：里山の街道らしい雰囲気があつた。

○神立付近：一直線のバス道路が常陸国府の方向を目指している。

○下稲吉付近の直線路と農村集落：直線路上に集落が展開し、また大きな農家が多いことから、歴史を感じさせる。

○延々と続く栗畑：非常に良く手入れされていました。

○新治付近の集落：大きな屋敷が多く落ち着いた雰囲気。

○新治付近の集落：農村集落の佇まいや冬枯れの林・畑に風情が感じられた。

○新治から天の川まで：のどかな田園地帯の道。

○天の川付近：緑の丘から下りて田んぼを歩き、橋を渡ってまた向こうの丘に登る道筋は、往古から変わらぬ地形を再認識させてくれる。



▲推定古代東海道／鎌倉坂を下る（土浦市木田余）



▲推定古代東海道／かすみがうら市新治の集落

- 天の川から筑波山展望：広大な関東平野に望む筑波山に悠久の歴史を感じた。
- 胎安神社（たやすじんじゃ）：源義家ゆかりの神社で森に囲まれた静かで穏やかな雰囲気的神社でした。
- 胎安神社：八幡太郎義家伝説があり、社殿も立派。
- 胎安神社・子安神社の周辺
- 子安神社：林の中の一直線の参道は、古社の風格を伝えている。
- 子安神社：長い参道が印象的でした。
- 子安神社：長い参道が魅力的。珍しい万年茸も初めて見た。
- 子安神社：参道は大きな木で鬱蒼としており、また万年茸という珍しいキノコも見ることができた。
- 恋瀬川から見る国道6号バイパス：大規模な工事現場が、かつて律令国家が古代東海道を作っていたときの地元の人々の驚きを現代に伝えているかのようだ。
- 恋瀬川付近：バイパス工事の最中でしたがその様子を、古代道路もこのように作っていたのだろう、との説明に想像をかき立てられました。
- 恋瀬橋：古い橋の欄干をカットして残しているのが印象的。
- 恋瀬川：国府を前に、坂を下って渡河するとき、往古の旅人は何を思ったであろうか。
- 総社神社：丘の上にあり社殿も立派である。
- 総社神社：茅葺の門や敷地内の建物がとても雰囲気がよく、気に入りました。
- 総社神社：茅葺きの門や本殿、摂社の配置など趣があった。
- 総社神社の茅葺の門
- 総社神社：お神輿奉納でなく「倉庫にしまう」ところを初めて見ました。色々見どころのある神社でした。
- 常陸国総社宮：下界を見下ろす丘の上に鎮座し、茅葺の門をくぐる境内は、社格にふさわしい歴史の重みを伝えてくれる。
- 常陸国総社宮：茅葺門など歴史を感じさせる。
- 常陸国総社宮
- 半分黒くなった総社神社のご神木
- 総社神社・常陸国府：国府跡の小学校に通っていたら、歴史の重みを感じて育ったでしょうね。
- 常陸国府跡：学校の校庭全体が国府であり、そこが今も広いまま使われているところがすばらしい。
- 常陸国府跡：発掘が進んでいるようだが、もう少し国府跡を「可視化」してもらえるといいのでは。
- 常陸国府にあった陣屋門のしゃちほこ
- 国府跡周辺の道：せまい道にも歩道がついて、歩きやすかった。（ヨーロッパ旧市街のように、舗装と車止めで区分していたのが心地よい）
- 石岡市内のレトロな町並み
- 石岡市中心街の町並み：水戸街道・府中宿の多くの建物が登録文化財として保存復元されており、しかも米屋、砂糖屋、肥料屋、農機具屋など、昔からの商売を続けているのには驚いた。観光土産物屋は、全く見かけなかった。これが本来のまちづくりであろう！
- 石岡市内の街並み：夕暮れにライトアップされた昭和レトロの街並みが魅力的。駄菓子屋にて買い物。一度じっくりと散策してみたい。



▲子安神社の長い参道（かすみがうら市東野寺）



▲水戸街道・府中宿の町並み（石岡市国府）

3◆古代官道らしさ（直達性、短絡性、古代史跡等） 評価点：3.77 内訳：AAAAAABBCCCC

A：台地の上を（マクロに見れば）ほぼ一直線に常陸国府を目指す道筋は、まさに古代官道にふさわしい。常陸国府跡など一級史跡も多い。

A：総社神社の茅葺の門や敷地内の建物がとても雰囲気がよく、気に入りました。

A：全体的にはほぼ一直線に国府を目指したコースであった。

A：かなり直線的な道が続いていて古代官道らしさが見受けられました。

A：後半の直線道路はそれらしい感じがした。恋瀬川からの登りと国府周辺も雰囲気があった。

A：所々失われた区間はあったが、台地の上などは直線性を残していた。

A：特に遠くまで道が見渡せた下稲吉近辺。

B：鎌倉坂に古代を偲ぶことができた。熊野古墳は鬱蒼とした樹木に覆われて、町の風景に溶け込んでいた。

B：直線の道路は新しく大きな道が多かったように感じられて、前回に比べて古代官道らしさという点では、今ひとつ実感に欠ける気がします。

C：全体としては概ね直線になっているが、史跡がほとんどない。

C：説明していただいたので判りましたが、そうでなければ普通に歩いてしまいそうでした。

C：箱式石棺（むき出しで石棺の中に空き缶が転がっていたのが気になった。本物？って疑ってしまった）

4◆沿道風景の魅力 評価点：3.25 内訳：AAAAABBBBBCC

A：真鍋の松並木、新治の農村風景、冬枯れの子安神社、石岡の総社宮、府中宿のまちなみなど、非常に多彩な魅力が感じられた。

A：板谷の松並木と一里塚や、町中の古い家並など「古代」ではないですが、歴史を感じるところが随所にあり良かったです。一里塚は実物を見たのも初めてでしたが、道の両側に残っているという貴重なもので感激しました。

A：松並木、田圃、畑、遠くに見える筑波山などの景色がよい。晴れていればもっとよかったであろう。

A：昔ながらの関東平野に広がる農地。脈々と受け継がれている人と自然の共生。

B：ところどころに見られる民家が立派でした。そのような家が立ち並んでいる様はとても魅力的でした。また、平地林も良かったです。

B：筑波山を遠くに見ながらの街道歩きは、常陸国らしさを感じさせた。

B：石岡の町並み。

B：いい風景はそんなに多くなかったような気がします。

B：前回同様、横を向くといいなあという横道がありました。

C：板屋の松並木、新治ののどかな田園風景、筑波山は、魅力的だったが、幹線道路がほとんどだった。

－：色の少ない季節、梅の赤が目立った。工業団地の工場敷地内にいくつも並んだ赤い鳥居。無人の肥料販売所。



▲推定古代東海道／かすみがうら市下稲吉の直線道路



▲果樹園と平地林の風景（かすみがうら市新治）

5◆古道にふさわしい史跡 評価点：2.80 内訳：AAABBBCCCC

A：石岡の常陸国総社宮は、丘の上の立地、茅葺の門など、国府の総社にふさわしい格式があった。常陸国府跡も、往古の繁栄を十分に想像させた。

A：総社神社の茅葺の門や敷地内の建物がとても雰囲気がよく、気に入りました。

A：総社はおそらくずっと続いているのだろう。国府跡も城ができたやうだが、地域の政治の中心地として機能し続けたことは貴重ですごいと思う。

B：総社神社や子安神社など歴史が感じられました。

B：常陸国総社宮、拝殿前の木や日本武尊の腰掛石など

B：石岡市街地にはあったが、途中には乏しかった。

C：八幡太郎義家伝説のある胎安神社、常陸国総社宮、常陸国府跡以外は、見当たらなかった。

C：総社神社と常陸国府は非常に大きな史跡だと思うが、それ以外は特になかった。

C：道路の両側にある板谷の一里塚

6◆沿道の古道や歴史の案内表示 評価点：3.14 内訳：AAABBBBBBBBBCC

A：歴史については適切に表示されていたが、古道については少なかった。しかし、恋瀬橋のたもとにあった道路解説版には、古代東海道、近世水戸街道、現代の国道6号の変遷が解説されており、古代道についても珍しくきちんとした詳しい記述があって感激した。

A：土浦近郊の一里塚、恋瀬川の橋、石岡の市内など。

A：一里塚の案内表示

B：土浦一高にも、道の途中にも歴史記念物や案内がありましたが、上方にあるから判りにくいかもしれません。

B：適当な数が適切な場所に設置されていたと思います。

B：案内表示を必要とする場所がほとんどなかった。その中で板谷の松並木と一里塚、恋瀬川ほとりの古代からの道の変遷の案内板は傑出していた。石岡市街地には案内表示が充実していた。

B：恋瀬橋の案内表示

B：恋瀬川の橋のたもとの案内板の説明文はわかり易かった。

B：常陸道の解説の掲示板がありましたが、古代官道の解説があり良く理解できました。

B：石岡市街地にはあったが、国府、国分寺、官道等の全体像を示す表示と解説が欲しい。

B：水戸街道に重なる部分には若干の表示がありましたが、それ以外はあまり気がつきませんでした。

C：途中には一里塚の説明などはあったが、古道などの案内表示はなかった。



▲推定古代東海道／かすみがうら市新治の月読尊



▲水戸街道府中宿／路地の駄菓子屋（石岡市国府）

7◆古道を活用したまちづくりの方向

○建物を保存しながら営みもあるという、石岡のまちづくりがやはり魅力的だと感じました。暗くなって店内に明かりが灯ると、また格別な趣で素敵でした。

○旧水戸街道の雰囲気は残したいが、「古代」となると難しいか。

○石岡では、近世水戸街道・府中宿のまちなみ整備が進み、多数の建物が保存改修されて美しい景観が再現されていたが、観光土産物屋がほとんどなく、本物のまちづくりだと思った。これに加えて、常陸国総社宮、常陸国府跡、国分寺、国分尼寺跡を結ぶ古代散策ルートを作れば、古代と近世の歴史を併せ持つ石岡の魅力が人々に感じ取れるようになると思う。

○石岡市街地は古代より何層もの歴史が積み重なっているのだが、活かされていない。恋瀬川から国府、国分寺までの官道と近世の水戸街道を明示し、歴史の重層性を示すと石岡の街らしさを主張できる。

8◆その他、今回の企画や気づいた点など

○歴史街道を楽しく歩くことができたのは、皆様の綿密な準備のお陰と感謝しております。歩きながら様々な知的刺激を受けて、充実した歴史街道ウォーキングの旅でした。有難うございました。(N. N)

○私は古代東海道の終点近くなってからの参加でしたが、常陸国府跡に到達したときは私なりに感動しました。スタートから踏破された方々の達成感はいかほどか、と思いつぐりました。今後も参加させていただき、私もその達成感を味わいたいと思います。(T. H)

○極めて寒い冬空の下ではあったが、初参加者も含め、参加者が総勢20人と多く、元気に歩けた。(J. N)

○9年前とほとんど同じコースであったが、半分も記憶していなかった。また、当時よりも沿道に建物が増えていた。道に沿って NTT のアンテナ鉄塔がいくつか立っていたが、これは、やはりこの道の大体のルートが古代官道であったことを物語っている。2年前に相模湾に近い平塚を出発して以来、ついに常陸国府に到達できたことは感慨深いものがある。(T. K)

○ゴール地点の記念撮影の垂れ幕みたいなのは紙だったのね、お手製だったのねと知りました(お疲れ様です)。教えていただいて初めて知ることや見るものがたくさんありました。落ち着いたら再度歩いて石岡の街を散策してみたいと思います。お天気は微妙でしたが、もって良かったですね。道に埋まっている道標(?)が千代田村と千代田町があり、村の処はそれなりに古そうな道でした。古代東海道は4回目の参加ですが、今までのマンホールの柄など集めてMLに載せようとしたのですが、新丸子にある長谷川関東ローマ層の中に埋もれてしまいました。(Ma. H)

○胎安神社、子安神社、恋瀬川、天の川の地名が面白い。マンネン茸を見つけた時のHさんの興奮した声に思わず戻って見に行ったら。とても珍しいものだそうだ。初参加のNさんが予習をしてきたというのを聞いて、穴を掘って入りたくなった。歩きながらの会話(てなもんや三度傘)が楽しかった。(E. K)

○明るいうちに石岡に至って良かった。夕暮れの石岡も良かったが、レトロな町並みや、国分寺跡もゆっくり見たかった。(I. T)

○厳寒のくもり空の下、林や畑の中の一直線の道筋をハイペースで歩いて、明るいうちに常陸国府に入ることができ良かったです。梶川さん、企画と主催をありがとうございました。矢部さん、地元石岡でのご案内に感謝します。長澤さん、42街道目の踏破おめでとうございます。それから、林さんのいとこの方が常陸国総社宮で差し入れを下さり、常陸国府でおいしくいただきました。ありがとうございます! そして、やや遠方の企画にもかかわらず、20名もの参加がありました(9年前は、わずか5名でした...)。佐藤さん、遅刻して早退という、根性でのかけつけ参加でしたね! さらに、2名の新しいメンバーが初参加されました。2月は沖縄の琉球王朝時代の真珠道ウォーク、次いで筑波街道です。皆さん、これからも一緒に歩きましょう!(R. O)

○恋瀬橋で「街道を建設中の絵」を見ながらOさんが「現在も東海道とは違うけど、道路を建設中。今も昔も変わらない」というようなお話をされていたのを聞き、『なるほど、いつの時代も人は道を作るんだ』と感心しました。(Me. H)

○それにしても幅12mにも及ぶ古代の高速道路がなぜ埋もれてしまっているのか疑問です。平安時代以降でも非常に有効な道であったのではないかと思います。現在の高速道路が後世に忘れ去られるなど想像できません。(A. T)

◆主催者より

おかげさまで、常陸国府まで到達できました。市川から石岡の間には、現代でも利根川や霞ヶ浦があり、陸地と水面との関係性を考えると、ルートの検証は困難な点がありますが、台地上の直線路の存在は、古代官道であることを示しているといえましょう。しかし、地域では「ただのまっすぐな道」としか認識されていないのは大変残念です。今回は常陸総社で林さんの従兄弟さんによる差し入れもあり、また、矢部さんの手配による素晴らしい打ち上げもでき、充実した一日でした。ありがとうございました。石岡市内は殆ど見ることが出来なかったのが、別途一日ツアーを企画したいところです。(梶川義実)



ついに常陸国府に到達(石岡市総社の石岡小学校にて)